

平成28年度 第3学年～6学年 算数少人数 算数科授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した工夫と課題	課題を受けた今後の改善策
3年	【課題】 ☆新しく学習することを考え、見通しをもって学習できる力を育てたい。 ・自分の考え方を言語にして、わかりやすく伝える力を育てたい。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・毎時間のめあてを提示することにより、本時の活動を明確にし、学習を進めるようにした。 ・児童の実態に応じて、ノートをしたり、机間指導での声の大きさを調節したり、支援の方法を工夫した。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・各単元の導入には、既習事項を想起させ、今までに学習したことを生かして課題に取り組めるようにする。 ☆教材の開発と工夫 ・言語による説明の書き方を全体で確認した上で、自力解決に取り組ませる。また、個に応じて、穴埋め→短文→全文のように段階的に指導していく。 ・話し合いの仕方を「結論→理由(→結論)」とシンプルにパターン化し、活動できるように工夫する。 ☆補助資料の活用 ・デジタル教科書などICTを活用する。
4年	【課題】 ☆毎時間の学習で、既習事項を確認しつつ進め、基礎的な学力を身に付けさせたい。 ・自力解決の場や考えを共有する場面では、自らの考えをもち、わかりやすく発表できる力を育てたい。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・個の意見を全体に広げるための話し合いの工夫をした。 ・多様な考えを発表させ交流する時は、自力解決時に発表者を決めて準備させ、話し合いをした。	☆評価 ・ポイントや書き方を提示したり、友達の良いまとめを紹介したりして、良い振り返りができるようにする。 ・学習過程の時間配分を熟慮し、それぞれの指導内容の吟味を必ず行う。 ☆補助資料の活用 ・デジタル教科書などICTを活用する。
5年	【課題】 ☆自分の考えを深めたり、確かめたりするために意見交換ができる言語力を身に付けさせたい。 ・友達の考えに関心をもち、考えを練り上げるための話し合いができるように場を設定する。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・友達と同じ式や解法でも、どうしてその考えで解いたのかを問うことで、理由の違いや考えの良さ、面白さを知り、問題に深く関わろうとする態度が育つように工夫した。 ・友達の説明を聞きながらメモに取ったり、自分の考えに付け加えたりさせることで、理解を深められるように工夫した。	☆相互の学び合いと手立て ・それぞれの考え方の良い点やよりよい方法について話し合えるように、自力解決の時点で教師自身が展開を想定し、練り上げておく。 ・全体で練り上げる前段階として、(友達の考えの確認や更なる解決方法の発見等については)ペアでの話し合いを取り入れる。 ・ただ発表してメモを取らせるのではなく、分からないことは質問させる等、一歩踏み込んだ指導の工夫をする。 ☆補助資料の活用 ・デジタル教科書などICTを活用する。
6年	【課題】 ☆自分の考えを深めたり、確かめたりするために意見交換ができる言語力を身に付けさせたい。 ・友達の考えに関心をもち、よりよい方法で考えを練り上げる話し合いができるように支援する。 【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て・評価 ・多様な考え方ができる課題を設定し、図・式・言葉を用いて説明できるように、解決方法を各自に考えさせた。 ・助言や丸付け等の即時評価によって、児童の学習への支援を工夫した。	☆相互の学び合いと手立て ・生活と関わる問題を用意したり、生活の中で生かせる場面を作ったり、発言しやすいように生活と結び付いた問題に取り組ませる。 ・全体で練り上げる前段階として、(友達の考えの確認や更なる解決方法の発見等については)場面に応じて人数を変えるなど、グループ活動は多様な形態を用いる。 ・ただ発表してメモを取らせるのではなく、分からないことは質問させる等、一歩踏み込んだ指導の工夫をする。 ☆補助資料の活用 ・デジタル教科書などICTを活用する。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		